

1. 総合型選抜

『学力の三要素』を踏まえた多面的・総合的評価について

選抜区分		選考方法	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	課題探究型	課題シート		●	●
		調査書	●	●	●
		総合考査	●	●	
		面接試験		●	●
	プレゼンテーション型	課題シート		●	●
		調査書	●	●	●
		プレゼンテーション		●	●

「総合考査」

志望学部・学科での学修に関わる基礎的内容に関して考察した結果を文章表現し、理解力、文章構成・表現力、分析力等を考査する。

【①知識・技能】【②思考力・判断力・表現力】を評価する。

「面接試験」「プレゼンテーション」「課題シート」

直接の対話や出願時に提出する課題論文等により、学力試験では測ることのできない適性や意欲、熱意・関心等を多面的に評価する。

【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

調査書については、出願要件（学習成績の状況）の確認及び面接試験等での参考資料として活用する。また、入学後の教育・指導や、入学者選抜制度の検証等に参考資料として活用する。

2.学校推薦型選抜

『学力の三要素』を踏まえた多面的・総合的評価について

選抜区分		選考方法	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
学校推薦型選抜	スポーツ推薦 指定校推薦	推薦書			●
		調査書	●	●	●
		小論文試験	●	●	
		面接試験		●	●

「小論文試験」

志望学部・学科での学修に関わる基礎的内容に関して自身の考えを文章表現し、理解力、文章構成・表現力、分析力等を論述する。

【①知識・技能】【②思考力・判断力・表現力】を評価する。

「面接試験」「書類審査」

面接試験における対話や出願時に提出する書類（推薦書および調査書）により、学力試験では測ることのできない本学への適性や意欲、能力、熱意・関心等を多面的に評価する。

【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

調査書については、推薦基準（学習成績の状況）の確認及び面接試験等での参考資料として活用する。また、入学後の教育・指導や、入学者選抜制度の検証等に参考資料として活用する。

3. 一般選抜

『学力の三要素』を踏まえた多面的・総合的評価について

選抜区分		選考方法	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	A日程	筆記試験	●		
	B日程	面接試験		●	●
	大学入学共通テスト利用型	筆記試験	●	●	
		面接試験		●	●

「筆記試験」【A日程・B日程】

高等学校までの学修において、修得すべき知識・技能を評価する。試験科目は、「国語」と「英語」の2科目を実施する。

【①知識・技能】を評価する。

「筆記試験」【大学入学共通テスト利用型】

高等学校までの学修において身に付けた、大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力を評価する。試験科目は、「国語」と「英語」に加え、「数学」「理科」の中から高得点1科目を採用する。

【①知識・技能】 【②思考力・判断力・表現力】を評価する。

「面接試験」【A日程・B日程・大学入学共通テスト利用型】

直接の対話により、学力試験では測ることのできない適性や意欲、熱意・関心等を多面的に評価する。

【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

調査書については、合否判定には活用しない。入学後の教育・指導や、入学者選抜制度の検証等に参考資料として活用する。また、英語の資格・検定試験は活用しない。

4. 特別選抜

『学力の三要素』を踏まえた多面的・総合的評価について

選抜区分		選考方法	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
特別選抜	帰国生選抜	書類審査	●	●	●
		小論文試験	●	●	
		プレゼンテーション		●	●
	リカレント選抜	書類審査	●	●	●
		小論文試験	●	●	
		プレゼンテーション		●	●
	国際バカロレア (IB) 資格選抜	書類審査	●	●	●
		小論文試験	●	●	
		プレゼンテーション		●	●
	英語外部資格選抜	書類審査	●	●	●
		小論文試験	●	●	
		面接試験		●	●

「小論文試験」

志望学部・学科での学修に関わる基礎的内容に関して自身の考えを文章表現し、理解力、文章構成・表現力、分析力等を論述する。

【①知識・技能】【②思考力・判断力・表現力】を評価する。

「面接試験」「プレゼンテーション」「書類審査」

面接試験またはプレゼンテーションにおける対話や出願時に提出する書類（履歴書、志願理由書等）により、学力試験では測ることのできない本学への適性や意欲、能力、熱意・関心等を多面的に評価する。

【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

調査書については、合否判定には活用しない。入学後の教育・指導や、入学者選抜制度の検証等に参考資料として活用する。